

平成 21 年 10 月 30 日

各位

会社名 株式会社サンリオ  
代表者名 代表取締役社長 辻 信太郎  
(コード番号 8136 東証第 1 部)  
問合せ先 常務取締役 江森 進  
電話番号 03 (3779) 8058

第 2 四半期累計期間の業績予想値と決算値との差異  
および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 21 年 5 月 14 日に公表しました平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)  
第 2 四半期累計期間の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等を踏まえ、通期の業績予想につきまして修正いたします。

記

1. 連結

(1) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の予想数値と実績数値の差異

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 21 年 5 月 14 日発表)	32,963	2,440	2,024	1,756	17.40
今回実績 (B)	33,271	2,799	2,174	601	4.19
増減額 (B-A)	308	359	150	△1,155	-
増減率 (%)	0.9	14.7	7.4	△65.8	-
ご参考：前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	34,471	3,224	3,070	1,171	10.61

(2) 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 21 年 5 月 14 日発表)	69,977	6,585	5,783	4,798	49.55
今回修正予想 (B)	68,572	6,097	4,947	2,694	25.49
増減額 (B-A)	△1,405	△488	△836	△2,104	-
増減率 (%)	△2.0	△7.4	△14.5	△43.9	-
ご参考：前期実績 (平成 21 年 3 月)	69,767	6,575	5,954	△1,495	△22.74

## 2. 個別

### (1) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期個別累計期間の予想数値と実績数値の差異

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 21 年 5 月 14 日発表)	23,701	1,511	983	1,203	11.07
今回実績 (B)	23,493	1,213	362	658	4.85
増減額 (B-A)	△208	△298	△621	△545	—
増減率 (%)	△0.9	△19.7	△63.2	△45.3	—
ご参考：前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	24,639	1,895	1,578	333	1.01

### (2) 平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 21 年 5 月 14 日発表)	50,703	4,141	3,226	3,346	32.91
今回修正予想 (B)	49,936	3,098	1,786	1,760	14.79
増減額 (B-A)	△767	△1,043	△1,440	△1,586	—
増減率 (%)	△1.5	△25.2	△44.6	△47.4	—
ご参考：前期実績 (平成 21 年 3 月)	51,888	4,105	2,825	△1,885	△27.20

#### 差異及び修正の理由

##### <連結>

第 2 四半期連結累計期間では引き続き欧州地域の大幅な伸びにより経常利益段階まで予測値を上回りましたが、期初、テーマパーク事業の組織再編に伴い法人税等調整額の戻入を見込んでおりましたが、タックスプラン上は認められないと判断したためであります。

通期（連結）の業績予想に関しましては、引き続き欧州地域のライセンスを中心とした海外事業が伸び、国内物販も堅調に推移すると思われませんが、国内ライセンスについては、ライセンス商品が主に販売されている百貨店やチェーンストアの不振や低価格商品の傾向が強いことから回復の見通しが立たない状況であります。また前述の税効果の影響もあり業績予想を変更いたします。

##### <個別>

第 2 四半期個別累計期間の国内物販ではチェーンストア向けの売上が減少し、また東南アジア向けの輸出も円高により代理店が発注を抑えたことにより売上が減少しました。国内ライセンスも、玩具やお土産雑貨などが低迷したことによる営業利益の減少に加え、円高による為替差損の発生等により経常利益が大幅に減少したことによります。

通期（個別）の業績予想に関しましては、国内物販・国内ライセンスは第 2 四半期後半からの「ハローキティ」35 周年商品の好調から、年後半に向けて回復傾向となると思われませんが、下期に関しての営業利益は前年比多少の減益を、経常利益は前年比多少の増益を予想しております。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上